

# STOP! 転倒災害 (飲食店)

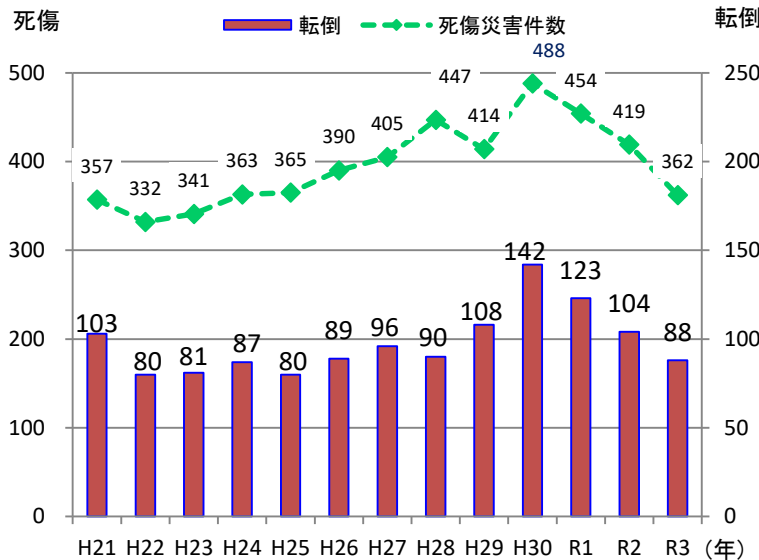
今日も一日  
ご安全に

大阪府内における令和3年の休業4日以上死傷災害8821件のうち2177件(24.7%)が転倒災害となっています。また、飲食店においては、休業4日以上死傷災害362件のうち転倒災害が88件(24%)発生しており、起因物別では、約40%が通路で発生しています。

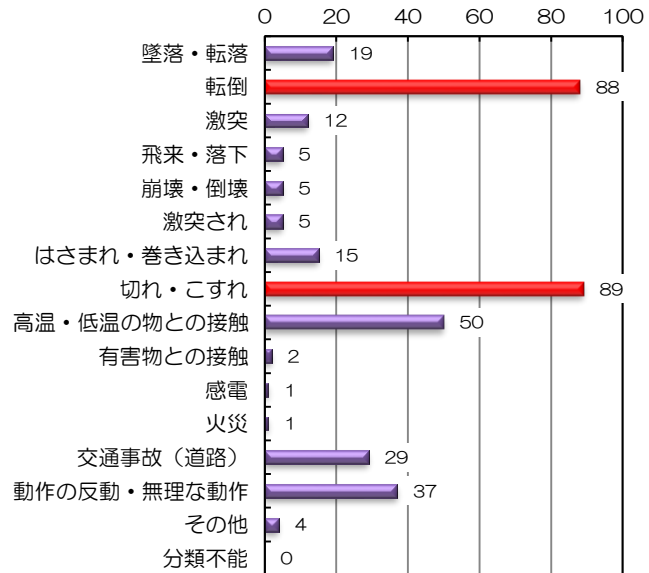
なお、転倒災害のうち約70%が休業日数30日以上となっています。

職場での転倒災害を防ぐため、まずは、適切な「靴」選びから始めましょう。

休業4日以上死傷災害件数 推移

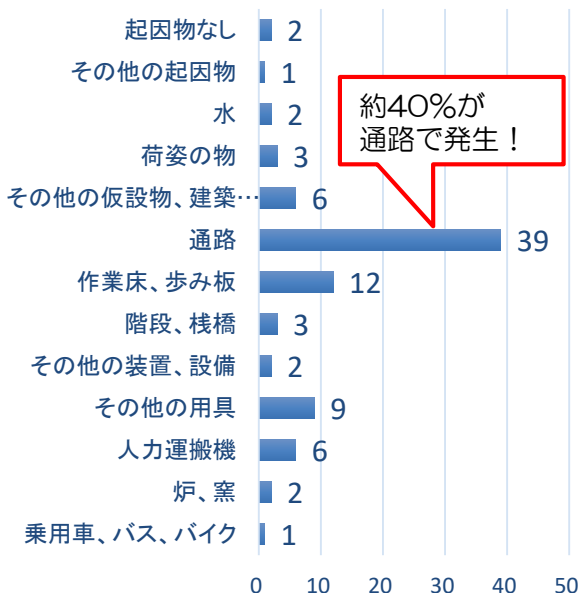


令和3年 事故の型別

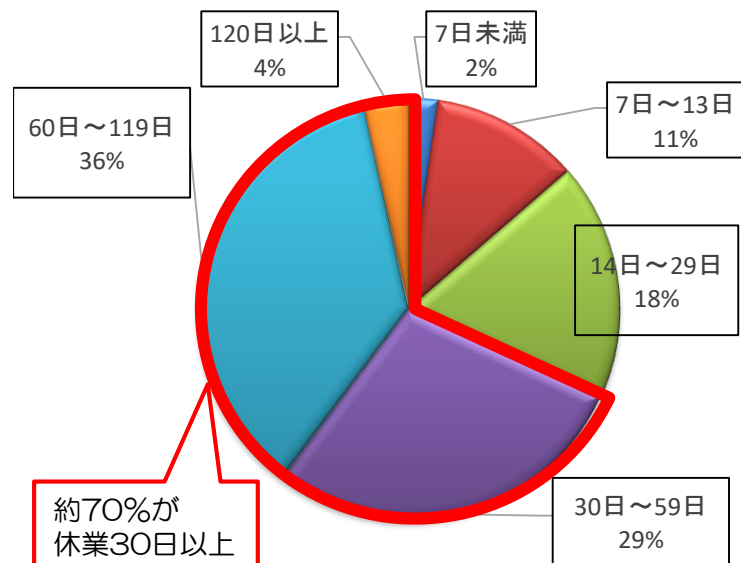


休業4日以上死傷災害件数(労働者死傷病報告による  
※新型コロナウイルス感染症による死傷災害を除く。

令和3年 転倒災害における起因物別



令和3年 転倒災害における休業日数別



# 皆さんの「靴」は大丈夫？ つまずき難い「靴」を履きましょう！

靴を購入するときには、「ブランド」や「デザイン」、「価格」や「機能」など様々な要素により選択されていると思います。そこで、**つまずき難いという「機能」を重視して、靴を選んでみませんか？**

「転倒の主な原因のうち、「滑り」と「踏み外し」は、靴底の滑りにくさを上げることで転倒リスクを下げることができます。また、高齢者だけでなく、若年者でも疲労が蓄積すると歩行時に足が上がりず、摺り足に近い歩行形態になって靴の先端部を凹凸に引っ掛け、数センチ程度の段差でも、つまずきやすくなります。「つまずき」は、靴底の構造によって、ある程度の効果を出すことができます。

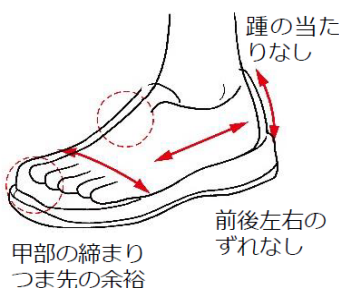
**転倒に有効な安全靴に求められる性能を整理すると、次の5点になります。**転倒災害の要因は様々であり、その防止対策も一概には言えませんが、履いている「靴」の面から転倒災害の防止に取り組んでみましょう！

## 転倒予防のために適切な「靴」を選びましょう

### サイズ

**靴と足はフィットしていますか？**

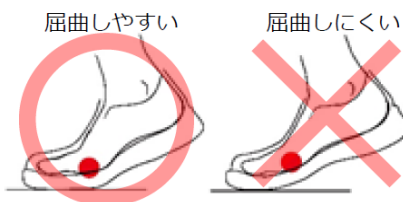
足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。



### 屈曲性

**親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？**

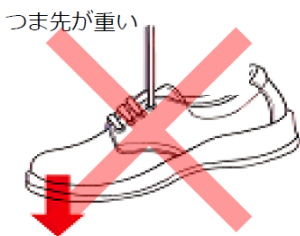
靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。



### 重量バランス

**靴の前後の重さのバランスはとれていますか？**

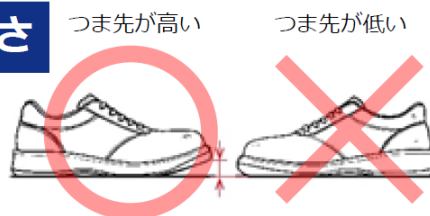
靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりやすく、つまずきやすくなります。



### つま先部の高さ

**つま先から床面まで一定の高さがありますか？**

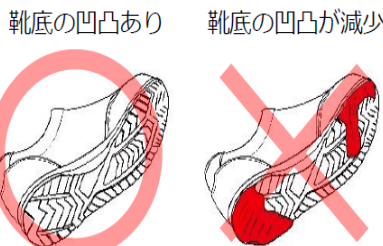
つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。



### 靴底の減り具合

**靴底がすり減っていませんか？**

靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります



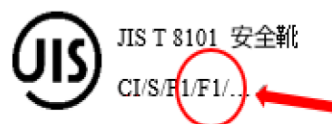
### 耐滑性の有無

**靴の滑りにくさを確認していますか？**

耐滑性を有する靴は、以下の箇所を確認できます。

#### ■安全靴の場合

個装箱のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください



#### ■プロスニーカーの場合

靴のべる裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるかを確認してください。



### その他の性能

#### ■静電気帯電防止性

静電気帯電による放電着火の防止と低電圧での靴底からの感電防止性能



#### ■かかと部の衝撃エネルギー吸収性

かかとのクッション性に関係し、かかと部の疲労防止性能



#### ■耐踏抜き性

釘などの鋭利なものから足裏を防護する性能



# 先芯がいない作業環境で使用する耐滑靴の探し方

作業時に着用する靴の安全性は、作業環境の状況に応じて決められています。  
先芯（安全性を確保するために靴のつま先部分に入れる）を履く必要がない作業環境の場合でも、耐滑靴を着用しなければならないことがあります。  
その場合、先芯入りの安全靴やプロスニーカーであれば、靴の表示で耐滑性を確認できますが、先芯入りでない靴は表示で耐滑性を確認することができません。  
その場合は下記のメーカーへご相談ください。

詳しくはメーカーや販売店にご相談ください  
耐滑靴取り扱い店・メーカー

| 会社名       | 電話番号         | 関連商品URL                                                                                                           |
|-----------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 弘進ゴム株式会社  | 022-214-3021 | <a href="https://www.kohshin-grp.co.jp/FormMail/shoes/">https://www.kohshin-grp.co.jp/FormMail/shoes/</a>         |
| 株式会社シモン   | 0120-345-092 | <a href="https://www.simon.co.jp/contact/">https://www.simon.co.jp/contact/</a>                                   |
| 日進ゴム株式会社  | 086-243-2456 | <a href="http://www.nisshinrubber.co.jp/contact/index.html">http://www.nisshinrubber.co.jp/contact/index.html</a> |
| 株式会社ノサックス | 082-425-3241 | <a href="http://www.nosacks.co.jp">www.nosacks.co.jp</a>                                                          |
| 株式会社丸五    | 086-428-0232 | <a href="https://www.marugo.ne.jp">https://www.marugo.ne.jp</a>                                                   |
| ミズノ株式会社   | 0120-320-799 | <a href="https://sports-service.mizuno.jp/btob_service">https://sports-service.mizuno.jp/btob_service</a>         |
| ミドリ安全株式会社 | 03-3442-8293 | <a href="https://midori-fw.jp/">https://midori-fw.jp/</a>                                                         |

## ワークシューズ・長靴の摩耗確認の見える化の事例 (取組事例：株式会社あきんどスリロー)

### 平成29年7月度 安全衛生委員会（転倒事故防止：ワークシューズと長靴のすり減り具合の確認）

#### ◆取組む背景

- ・転倒は、打ち身、捻挫で済まず、大きなケガになることがあります。  
(フライヤーに手を突っ込んで大やけど、腰や手を打って骨折など)
- ・ワークシューズと長靴の靴底がすり減ると、滑り止め効果が無くなりますので、必要があれば、交換して下さい。  
(摩耗度をスリップサインでチェック)
- ・その他の転倒防止の注意事項もご確認ください。

| ワークシューズ交換の目安 |         |
|--------------|---------|
| 社員           | 約3～4ヵ月  |
| 社保適用スタッフ     | 約4～6ヵ月  |
| 雇用保険スタッフ     | 約8～10ヵ月 |
| 一般           | 約1年     |

(あくまで目安なのでスリップサインで確認して下さい)

| 交換のタイミング = すり減り具合の確認                                                               |                                                                                     | 転倒防止の注意事項                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <ワークシューズ>                                                                          | <長靴>                                                                                | 日常活動で<br>行なって頂きたい事                                                         |
| 靴底の3か所の「スリップサイン」の内、<br>2ヶ所以上がすり減っていたら、<br>交換して下さい                                  | 溝が消えてしまっている部分があったら、<br>交換時期です                                                       | <input type="checkbox"/> 店内では走らない                                          |
| スリップサインのチェックポイント                                                                   | ◎ 使用可能な長靴      × 使用禁止の長靴                                                            | <input type="checkbox"/> 人の後ろを通る時は<br>「後ろ、通ります」                            |
|  |  | <input type="checkbox"/> マットに<br>めくれ、浮きがない                                 |
|                                                                                    |                                                                                     | <input type="checkbox"/> 通路は片付いてる                                          |
|                                                                                    |                                                                                     | <input type="checkbox"/> グレーティング清掃中、<br>フタを開けたまま<br>どこかに行かない<br>(清掃を完了させる) |

7月の安全衛生委員会議事録提出は、7月25日となっております。

転倒災害防止のため、耐滑性の高いワークシューズ（耐滑区分5、動摩擦係数0.4以上）を導入しているが、摩耗が早く、摩耗すると滑りやすくなることから、靴底にスリップサインを入れ、定期的なスリップサインを点検する取組シートを作成し掲示している。

# あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

## 転倒災害防止のためのチェックシート

| チェック項目 |                                            | <input checked="" type="checkbox"/> |
|--------|--------------------------------------------|-------------------------------------|
| 1      | 通路、階段、出口に物を放置していませんか                       | <input type="checkbox"/>            |
| 2      | 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか         | <input type="checkbox"/>            |
| 3      | 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか            | <input type="checkbox"/>            |
| 4      | 転倒を予防するための教育を行っていますか                       | <input type="checkbox"/>            |
| 5      | 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいますか | <input type="checkbox"/>            |
| 6      | ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか   | <input type="checkbox"/>            |
| 7      | 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか          | <input type="checkbox"/>            |
| 8      | ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか    | <input type="checkbox"/>            |
| 9      | ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか               | <input type="checkbox"/>            |

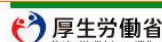
## 問題のあったポイントは改善しましょう

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。  
どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！

厚生労働省では、転倒災害を減少させるため  
「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています！

STOP！ 転倒

検索



職場の安全を応援する情報発信サイト／

職場のあんぜんサイト

▶ HOME ▶ お問い合わせ ▶ サイトマップ

検索



労働災害統計



労働災害事例



各種教材・ツール



化学物質

ホーム > STOP! 転倒災害プロジェクト



STOP! 転倒災害プロジェクト